

謹賀新年

1990年元旦

WE ARE
THE
KOBECO
いい関係



フレッシュ神戸
ハートが踊る

夢、ときめき、
五感マンゾク

■神戸は全国にさががけて海外からの文化をいち早くとり入れて来たインターナショナル・シティ。

山と海に囲まれた温暖な気候風土の中で、多彩な文化を育くみ、豊かな生活をエンジョイして来た神戸っ子たち。神戸をこよなく愛する神戸っ子——。

そういう神戸っ子たちのクラブ、「神戸っ子倶楽部」が今、誕生します。

神戸をさらに文化の香り豊かな街にするために、神戸の生活文化のバックグラウンドの質を高め、より豊かなより楽しいライフスタイルを生み出す神戸っ子倶楽部。

それは神戸のファンクラブです。

■神戸っ子倶楽部の会員には素敵な特典があります。

会員の方には「月刊神戸っ子」を1年分お届けします。神戸っ子倶楽部の会報として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きなど様

々な情報を提供します。

さらに年に二回、文化性の高いイベント（コンサート・美術展・演劇など）に特別割引または無料でご紹介いたします。

■神戸っ子倶楽部では、ただ今、会員を募集しています。年会費（入会金を含みます）は1万円です。入会と同時に会員証をお渡しし、その月から「月刊神戸っ子」を毎月お送りいたします。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって、豊かな神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか……。

■入会申込・お問合せは——

神戸っ子倶楽部事務局 / 〒650 神戸市中央区東町113-1大神ビル9F
(月刊神戸っ子編集室内) ☎ (078) 331-2246

<p>学校法人 行吉学園 神戸女子大学 神戸女子短期大学</p> <p>理事長・学長 行吉 哉女</p> <p>神戸市中央区中山手通 2-23-1 TEL 078-231-1001</p>	<p>(南)神戸コンサート協会</p> <p>代表取締役 中筋 栄一</p> <p>神戸市兵庫区湊川町 3-3-2 TEL 078-511-5223</p>	<div data-bbox="878 119 1131 379"> <p>90年代、 文化は 神戸から</p> </div> <div data-bbox="793 409 1222 890"> <p>宇成廣平 一九九〇年元旦</p> </div> <div data-bbox="980 920 1035 1152"> <p>一九九〇元旦</p> </div>
<p>萬葉と短歌の会</p> <p>主宰 飛松 實</p> <p>神戸市須磨区離宮前町 1-6-23 TEL 078-731-5449</p>	<p>木 彫 はちのす会</p> <p>会長 渡辺 一生 副会長 渡辺 二笙 西宮市千歳町 4-12 TEL 0798-23-3300</p>	
<p>いけばな 小 原 流</p> <p>亀 島 豊 鶴</p> <p>神戸市長田区片山町 4-2-1 TEL 078-642-1758</p>	<p>佳生流華道</p> <p>家元 西村 雲華 副家元 西村 公延</p> <p>神戸市中央区野崎通 3-3-21 TEL 078-221-6239</p>	
<p>専生池坊泉会</p> <p>家元 諸泉 陽子</p> <p>神戸市東灘区住吉山手 3-2-21 TEL 078-811-1601</p>	<p>あなたを、新発見</p> <p>サロン・ド・ポートピア 文化教室 ポートピアホテル 神戸市中央区港島中町 6-10-1 TEL 078-302-1111(代表)</p>	
<p>(社)日本文芸家協会関西支部</p> <p>支部長 村上のぶ子</p> <p>芦屋市親王塚町 7-8 TEL 0797-23-2607</p>	<p>舞子焼・末汎窯</p> <p>南 汎</p> <p>神戸市西区神出町広谷623 TEL 078-965-2244</p>	

<p>“ふるさと兵庫”の 心豊かな文化を守り・育てる (財)兵庫県文化協会</p> <p>理事長 山本 敏雄</p> <p>神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL 078-321-2131</p>	<p>花柳流日舞教室 柳 勢 会</p> <p>花 柳 芳一勢</p> <p>神戸市兵庫区下紙園町10-12 TEL 078-361-4509</p>	<p>大 和 楽 蘭 の 会</p> <p>大和楽理事長 大和三千世 蘭の会 主宰</p> <p>神戸市中央区中山手通 7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>盛物・いけばな</p> <p>知 香 流 家元 成瀬 香梅</p> <p>神戸市東灘区深田町 2-3-4 TEL 078-851-8113</p>
<p>日本舞踊 花 柳 流 花柳 五三輔</p> <p>神戸市長田区西山町 4-7-11 TEL 078-621-3209 691-3140 積古場/長田交差点東側泉屋ビル4F TEL 078-576-7725</p>	<p>フラワーデザイン 「花のかたち」より「花のこころ」を伝えたい マミフラワーデザイン スクール神戸 寺尾 啓子</p> <p>神戸市東灘区田中町 5-1-12 東灘スカイマンション710号 TEL FAX 078-453-3462</p>	<p>貞松・浜田 バレエ団・バレエ学園</p> <p>団 長 貞松 融 学園長 副 団 長 浜田 蓉子 副学園長</p> <p>神戸市灘区畑原通 3-6-6 TEL 078-861-2609 FAX 078-801-0308</p>	<p>丹波焼延年窯</p> <p>市 野 弘 之</p> <p>多紀郡今田町上立杭 TEL 0795-97-2212</p>
<p>モダンダンス 今岡頌子舞踊団</p> <p>今岡頌子・加藤きよ子</p> <p>神戸市中央区三宮町 1-5 TEL 078-391-1518</p>	<p>吾妻流日舞教室 吾 妻 秀 扇</p> <p>神戸市灘区篠原北町 4-11-8 TEL 078-881-0680</p>	<p>二紀会兵庫県支部</p> <p>支部長 高崎研一郎</p> <p>神戸市西区学園西町7-3-7-102 TEL 078-792-0230</p>	<p>専修学校 京都経営経理専門学校 専修学校近江神宮附属 近江時計眼鏡宝飾専門学校 学校長 矢野 千恵子</p> <p>京都市伏見区京町 4丁目 TEL 075-622-3261 大津市神宮町 1-1 TEL 0775-22-2200</p>
<p>(財)小 原 流</p> <p>理事長 小原 夏 樹</p> <p>神戸市東灘区住吉山手 4-12-70 TEL 078-811-0871</p>	<p>芸大・美大受験実技指導 初田美術研究所</p> <p>所長 初田 寿</p> <p>神戸市中央区北長狭通5-1-2 TEL 078-351-6260</p>	<p>兵庫県文化賞受賞者懇話会</p> <p>代表 小林 武雄</p> <p>神戸市中央区下山手通 4-16-3 (兵庫県文化協会内) TEL 078-706-0113</p>	<p>木彫・染色教室 がれりや馬亜乃 木彫 村上 喜平 染色 白石 弘子</p> <p>神戸市中央区北野町 4-9-6-21 TEL 078-242-5005</p>
<p>声楽 メゾ・ソプラノ</p> <p>井 上 和 世</p> <p>神戸市中央区再度山大龍寺 TEL 078-371-5838</p>	<p>神戸ネオトロピカル協会</p> <p>会長 森 美代子</p> <p>神戸市中央区山本通 2-2-7 TEL 078-222-5875 242-5690</p>	<p>みやび流押絵教室</p> <p>二代目家元 小西 絹甫</p> <p>芦屋市公光町 3-15 TEL 0797-34-1001</p> <p>芦屋教室 ラポルテ 4F朝日カルチャーセンター内 TEL 0797-38-2666</p>	<p>日本舞踊 若 由 会 若 柳 吉由二</p> <p>神戸市垂水区平磯 4-2-3 TEL 078-706-0113</p>

90年代、
文化は
神戸から



一九九〇 元旦

<p>未生流 肥原 硯甫</p> <p>神戸市東灘区御影丁郡家庄ノ元260 TEL 078-841-5918</p>	<p>株式会社 梅田画廊</p> <p>会長 土井 憲治 社長 野呂 好徳</p>	<p>90年代、 文化は 神戸から</p> <p>天馬 福星開基城 平成庚午 野呂好徳</p> <p>一九九〇 元旦</p>
<p>尾上 菊見</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町4-4-6 TEL 078-731-2193 東京都渋谷区上原3-17-15 ドムス代々木上原202 TEL 03-465-3687</p>	<p>須磨寺 小池 義人</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町4-6-8 TEL 078-731-0416</p>	
<p>未生流 玉光 家元 谷村 晃甫</p> <p>神戸市東須磨区平田町1-1 TEL 078-735-3256</p>	<p>(社)能楽協会神戸支部 吉井 順一</p> <p>神戸市中央区多聞通3-1 湊川神社神能殿内 TEL 078-371-1358</p>	
<p>学校法人 福富学園 明石短期大学長 神戸ファッション専門学校 校長 福富 芳美</p> <p>神戸市中央区国香通16-7 TEL 078-241-8611</p>	<p>武田 芳一</p> <p>神戸市兵庫区馬場町1-3 TEL 078-351-2330</p>	
<p>ギャラリー&珈琲サロン 兜子館 代表者 赤尾恵以</p> <p>神戸市東灘区御影山手1-13-4 TEL 078-881-0760</p>	<p>関西日印文化協会</p> <p>神戸市北区鈴蘭台東町9-7-26 TEL 078-591-5633</p>	



ANNIVERSARY

質の高い舞台と観客によって
成立する演劇。東京の小劇場ブ
ームと対象的に関西での公演は
厳しい状況におかれている。そ
んな中、オフ・ブロードウェイの
ロングラン作品『ヴァニティズ』
を神戸で上演しようとする
企画集団「ナウアデイズ・レディ
ースフロジェクト」が誕生した。
「観たいモノ」は自分でつくる
西尾皆吾プロデューサーを中心
に俳優、脚本、舞台監督：すべ
て女性スタッフで手掛けている
「地元発の演劇を」と熱い夢を
もった彼女たちが12月17日、新
神戸オリエンタル劇場での本番
を前に公開リハールを含んだ
記者会見を行うというので協力
しました。人と人との出逢い、
集い、何かを生み出たす「ヘンサ
エティ」のスタイルこそ、私の
店の望まれた使い方です。から、
17日、盛大な拍手と共に幕を下
ろした『ヴァニティズ』の成
功と共にこれからもこういった
スタイルを広げていきたいもの
です。

〈総支配人・小山靖雄〉

レストランソシアティ
ハンター坂倶楽部 **E**
ラビアンローズ

神戸市中央区山本通り2丁目4-24
ハンター坂・リランゲート2F
Phone. 078-242-7294

■'90新春メッセージ

I LOVE KOBE



森本 泰好

〈神戸地下街株式会社専務取締役〉

90年を迎え 新しい神戸の誕生

今年、さんちかは開業25周年を迎え、化粧直しをして3月2日再出発、ウインディ・三宮の一員として、遊・知・美の時代にふさわしく多様な情報発信機能を整え、神戸の顔づくりに役立ちたいと考えています。三宮のショッピングの魅力は梅田と違い、そぞろ歩きができることです。新神戸・北野・三宮のトライアングルが、新しい快適空間に成長してきました。私どもはその一角に1昨年スタートした公開異人館ホワイท์・ハウスを大切に育ててゆきます。3月から3ヶ月間、田村孝之介展を企画ですが、話題のツインコーヒーが楽しめるカフェはなみずき”ともどもご愛用下さい。

JR神戸駅前に開発中のハーバーランドとサンこうべを結ぶ新しい地下街の工事も順調に進んでいます。開業はもう少し先になりますが、ウォーターフロントへ続く導線らしい工夫をこらします。

いま消費革命が着実に進んでいます。所得・時間・情報の三つを十分に手にした市民は、行動様式をすっかり変えてしまいました。この新しい時代に、三宮は生活文化の根拠地として、全国に話題を提供し続けねばなりません。今年のキーワードは

think globally and act locally



神戸地下街株式会社

神戸市中央区三宮町1-10-1

☎078-391-4024

I LOVE KOBE



廣瀬 吉彦

〈アーバンライフ(株)取締役社長〉



北西側から望む六甲アイランド

進取の心を 受け継ぐ神戸を

昭和37年の夏、初めて神戸の町に降りた。横浜からリオデジャネイロまで2ヶ月の船旅の初めての寄港地であった。海を通じて海外の文化がそのまま日本の文化に溶け込んでいる町という感じを持ったことを今でもはっきり覚えていて。その後、4年間ニューヨークにいてから芦屋に住むようになり、神戸は昼も夜も私が最もよく通っている街である。家族揃ってでかけるのも必ず神戸で、親しみやすさと落着いた外国の文化の香りがして、大変心楽しい町である。

今、神戸もいろいろな意味で変わりつつあると思う。海にはポートアイランド、六甲アイランドができ、西神ニュータウン、ハーバーランドができ、三宮にも次々と新しい建物ができてゆく、私は時代と共に街は変わって行くものだと思っている。これを止めることはできない。神戸の街は絶えず外国の文化を素早く取り入れ、それを同化した文化都市で、そういう先人の作った神戸の心はぜひ継承して行きたいと思う。古い建物の保存は良い事だが下手をすると博物館的になり、進取の気性を失う方向になりやすい。先人の残した形ではなく、心を受け継いで行く神戸であって欲しいと願っている。

アーバンライフ株式会社

大阪市中央区南船場四丁目四番三号

御堂筋アーバンライフビル

TEL 06-244-1101

■'90新春メッセージ

I LOVE KOBE



速水 宣二

〈日本旅客船株式会社
代表取締役社長〉

上総 正博

〈専務取締役〉

**'90年は大型マリンレジャー時代
神戸・横浜を定期クルージング**

速水 僕は神戸港に、豪華客船が何隻も入港できるフロリダのような客船バースを造って欲しい。そうなれば、地中海にも劣らない瀬戸内の、のどかで美しい風景のなかでの豪華客船の旅が楽しめるはず。

来春、三月二十四日から神戸・横浜間に就航するジャパニーズドリーム号の20時間のワンナイトクルージングでは、世界の客船でのクルージングの入門編としてぜひ利用していただきたい。その為には、あらゆる最高級レベルのクルージングを用意し、下船するまでは、「ねむらせナイト」と称する独自の演出を準備していますので、大型マリン・レジャー時代の旅を楽しんでいただきたいものです。

上総 僕は、貨物船だタンカーに乗っていたので、神戸は外国航路を終えて最初に入る港。「ああ、日本に帰って来たな」と六甲山の山脈と麓に広がる神戸の街をいつも印象的に眺めてきました。そして、神戸港は、船乗りが一番安心する港。元町のれんが通りなどには「船乗りの菓のような憩いの場もあり、食物もおいしいし安い。どここの国でもそうですが、港町の女性は、とてもエレガントです。神戸は日本で一番おしゃれな街だと思っています。

JASPA（日本旅客船株式会社）

本社 〒103 東京都中央区日本橋本町4-14-7

☎ 03-6339-2291

本店 〒650 神戸市中央区磯辺通4-2-20

神戸ビルディング601

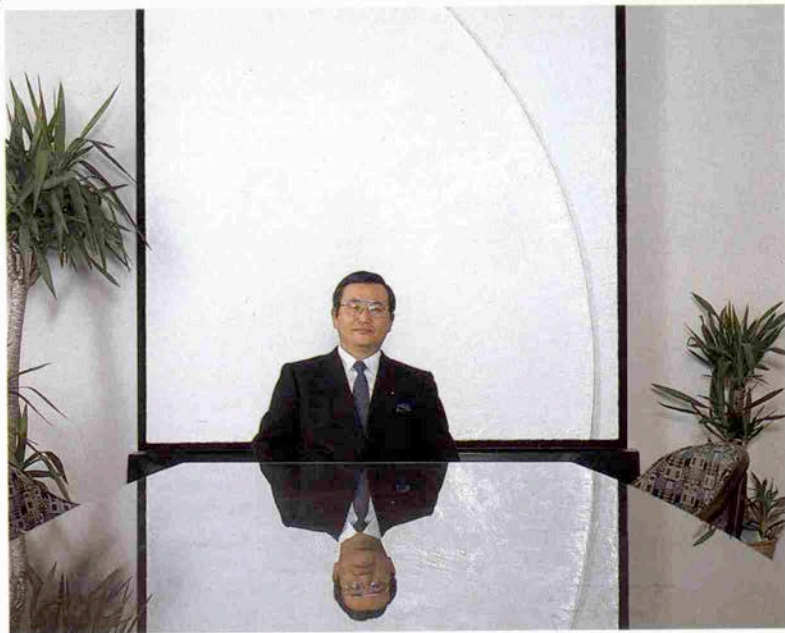
☎ 078-222-5001



「聖観音菩薩」松本明慶・作

青木 幸夫

〈株式会社エルアイシー〉
代表取締役社長



「観」山内雅夫・作の前にて

観（かん）

新年、明けましておめでとうございます。
私は、商業不動産の事業計画コンサルタントとしての仕事の関係上、「観る」という事が、本当に大切であると思っています。
私、及び我が社は、不動産を「どう活かすか」ということをライフテーマ・企業理念として人生を歩んでおりますが、御相談を受けている土地・建物を観て、その観じ方でわかってくることがあります。「観る」ことによって、その土地・建物を売却する場合の活かし方、賃貸する場合の活かし方がわかってくるのです。
「観」は「勘」に通じ、「感」に通ずるものと思います。

昨年、私は松本明慶先生の「聖観音菩薩」像と、山内雅夫先生の四年の油絵の力作「観」に出逢え、私の会社に置き、日々、観じさせて頂いております。

「聖観音菩薩」像は、我が社を守って戴きながら、真摯な厳しい目で、私に物事の観じ方を教えて戴いているような気が致しますし、「観」は、真つ白い空間の中に、無限の広がり、新しい輝きと、伸びてゆかなければならない方向を観じさせて戴いているような気が致します。

今年もエルアイシーは、社員一丸となり、夫々の「観」を求めて、王道に則り、心をこめてお客様方の繁栄の為に、屈せず、媚びず、奉仕の精神で、尽くさせて頂きたいと思っています。 平成2年元旦

〒650 神戸市中央区港島中町6丁目9番地の1
ポートアイランド 国際交流会館8F
TEL 078-330214009代

私の一流はMILANO発MOTOMATI經由



President, Mr. Manglia Giovanni

&

Mr. Mitsuyuki Tsuji

親愛なる皆様へ
 永きにわたり我々はサンサカ工を通じ皆様の
 御愛好を賜わっております。我社はイタリア
 に於て最も有名な、アニオナ社、ロロピアナ
 社、オケツボ社等の生地を使つて特殊な一枚
 仕立てのウエアーを提供いたしております。
 これらのウエアーは、一枚一枚円念に手作り
 で仕上げております。我社のウエアーは、サ
 ンサカ工を通じて常にお客様の満足を頂いて
 おります。



San Sakae

So-You Tsuji Co., Ltd.

本店 元町通2-1-9・331-5121代
 レディース 元町通1-10-3・331-7885



Coffee Break



★兵庫エフエムが いよいよ10月開局

長年の念願だった兵庫県に初の民放エフエム放送局が開局することになった。

昭和57年に民放エフエム局の周波数が割当てられてから71社の申請と調整が行われ、昨年8月によりやく一本化された。



西田俊一さんは今年の10月1日の予定。

同局の西田俊一営業部長は「国際都市らしい雰囲気と特徴を生かして、感性豊かなリスナーの要望に応える局を目指したい」と抱負を語っている。

★イズムが第3本社を着工

神戸のアパレルメーカー「憐イズム」が、現在加納町にある第1本社ビルの正面に第3本社を着工する。



小田義典さん目まで成長小田さんとは思って

みませんでした。第3ビルの使用開始は満10周年をむかえる平成3年から。その時には新たな飛躍をしたいと思っています」と力強く語った。

★第2回ボートボウル開催

「ボートボウル」と名付けられた県立星陵高校と市立西宮高校のアメリカンフットボールの対抗戦が行われる。

1月14日、ユニバグラウンドで、午前10時30分からの現役戦を皮切りに、36歳以上のメンバーによる超OB戦、若手OB戦の3試合が熱戦を繰り広げる。

昭和25年創部という県下最古参の星陵高に、OB会が正式発足したのが3年前のこと。

それを期にボウルゲーム開催の機運が盛り上り、昔からのライバル校、市立西宮高との間で、昨年1月が「第1回ボートボウル」が



光行さん開催され実行委員長を務める

る。エルク社長、星陵OBは、「関西で人気のあるアメリカンフットボールですが、さらにレベルアップを目指したいです」と語っている。

★みる みえる みよう

1月9日午前10時30分よりABCテレビで、兵庫県提供特別番組「みる みえる みよう」が放送される。

司会・進行役は乾電介アナ、ゲストに斉藤とも子、ジャーナリストの大谷昭宏、兵庫教育大学教授の山田卓三らを迎え、インタビュアーには掛布雅之、堀ち



乾電介さん電う豪華メンバーの

出演が決まっている。

「見る」ということは、どういうことなのかを、ハイテク技術を駆使し徹底的に探る。また、西播磨に建設が予定されている「大型放射光施設」(Spring 1-8)により何が見えるようになるかが見ものだ。

同番組では「見る」とい

うことを様々な視点から考える。出演するにあたり乾アナは大張り切り。「見どころ」は充分だ。

★最年少受賞の平間さん

何事も「謙虚」に

県技能顕功賞の表彰式が11月15日、中央区の県公館で行われた。同賞は、優れた技能で産業の発展に貢献し、後継者育成にも努めている技能者を表彰するもので、最年少受賞者は長田区の写真技師、平間淳一さん(43)。



平間淳一さんは家業のタカサゴフォト

スタジオを引き継ぎ2年、職場以外でも神戸市青少年健全育成委員を務め、周囲からの信頼も厚い。

「安易に写真が撮れる時代だから、自分が上手だと錯覚する若手が多いですね。多分野にわたる知識・教養をつけ、様々な人達に接することが大切」と自己を振り返る。「謙虚さ」が今回の受賞につながったという平間さんの、これからの後進の指導に期待したい。

動物園飼育日記

—〈289〉—

竜井一成

〈王子動物園学芸員〉
写真撮影も筆者

ゾウの動物園史 (5)

——ゾウ舎完成す(開園三年目)

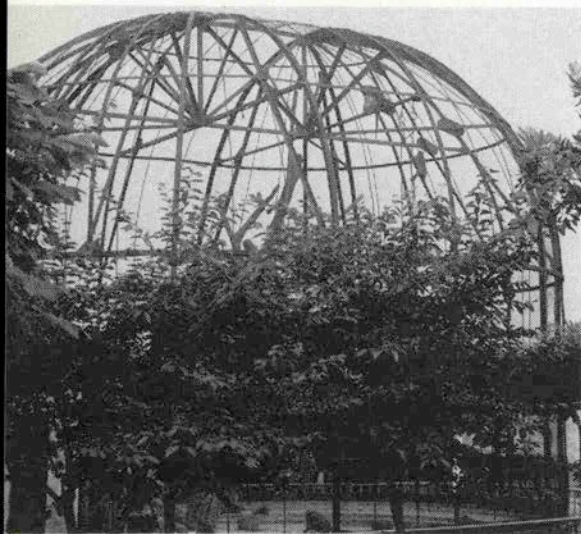


一九五一年三月二〇日 王子動物園開園（入園料大人二〇円、小人一〇円）

一九五二年五月一日 初代園長山本吉之助氏就任。着任早々本格的なゾウ舎及アシカ池の新築工事着工をしたが、今日のようにシヨベルカーもなく、地下四〜五米という基礎の掘削が全て手掘りだった。また、コンクリートミキサーカーもなく、現場でガラガラガラと電動式ミキサーを回し、砂にセメントを混ぜコンクリートを打つという工程は、殆んどの場合完成が遅れるという状況であった。

一九五三年三月末 ようやくアシカ池が完成した
一九五三年四月一日 入園料大人三〇円、小人一五円に改正。

一九五三年六月末 待望の鉄筋コンクリートの外堀で囲まれた本格的なゾウ舎が遂に完成した。
一九五三年九月末 さらにまた、木造とはいえ、当時としては他の動物園に負けないキリン舎も



旧諏訪山動物園からそっくり運んだモンキーホール

完成を見た。

さて、このように次々飼育舎が完成する中で我々は、どのような方法で動物を移動させるか、その策に悩んだ。何しろクレーンやホークリフトなどはなく、全てが人力作業なのだ。

【苦心の人力作業】

オリに入ったキリンの総重量は一〇〇〇キロは越える。トラックから斜めの板橋（道板という）を渡し檻が横倒しにならないよう丸太コロを敷き、四方からロープで引きながら、ソロリ、ソロリ、地上へ降すのだ。もし、キリンが檻の中で暴れだしたらお終いである。地上に降すのに三〇分、ほんとに休み間もなく、そのまま飼育舎へ運びこんだ。

一方ゾウ二頭は一年以上住みなれた部屋から移動することは、至難である。僅か二〇〇メートルという近い所に建てられたが、その工事が彼等の新しい住家だとは知るはずがない。工事音がうるさく、ゾウの最も嫌いな丸太の足組が常に身の危険を感じさせていた。野生ゾウを捕獲するとき、丸太で巨大な迷路を作って捕える、それをゲツタと呼ぶ。とにかく体の大きいゾウは狭い門柱をくぐることを異常に嫌うのである。

一九五〇年三月二四日 ゾウ（摩耶子）東灘貨物駅に到着、徒歩で神戸博会場へ到着。その第一号飼育係が私であった。以来泊りこみ、ヒザを折ってのあいさつ、基盤乗り、ラングイ渡り、ラッパ吹きを調教。ゾウ舎前での『ゾウの演芸』を催し、たいへんな人気となった。シヨウの最後は学童六人を背に乗せて運動場を一周した。「ハイ、

ハイ、ハイ」手を上げる学童を選ぶ時が人気の頂天だった。

その摩耶子連れ、豊岡、姫路、赤穂、米子、和歌山(橋本町)、四国鳴門などへ貨車に乗せ出張公演に二人(?)で出かけた。出張中、貨車に乗り込む時と会場のアーケードをくぐる時に何度暴走したか分らない。とにかく狭い門柱をくぐることを異常なほど嫌うのである。

【ゾウと縄引き。汗だくの宿替え】

新築のゾウ舎は深さ二米二〇×巾二米の堀で囲み、ゾウを運び込む巨大な鉄戸(引戸)が設けられている。そこから二頭のゾウを歩かせ入れるのだ。足にクサリをつけ、耳かせも着けた。出張に馴れていた摩耶子は落着いていた。いつも留守番役だった諏訪子はやはりクサリをつけると興奮した。さて移動は二頭同時よりも摩耶子を先にしたら、もし暴走した時は残っている諏訪子の部屋に駆け込むだろう。そこで諏訪子を旧舎の部屋にクサリで繋いでおき扉は開け放ったままにした。

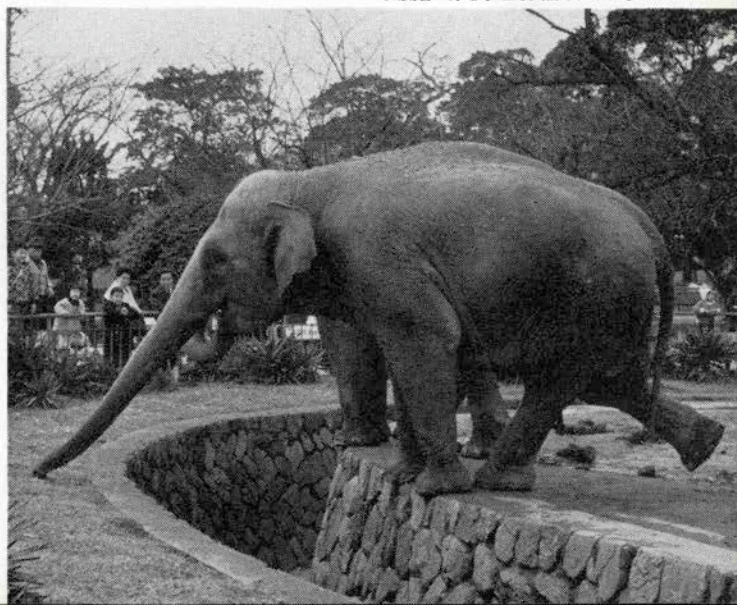
「歩け」

私のサインに摩耶子はゆっくり旧舎から園内に出了た。およそ五〇米。新舎に向け歩いたが、突然止った。シュ、シュ、シュ、やはり反抗的だ。私以外の作業員を足で蹴り鼻で突きつける。足のクサリに太いロープをつけ、そのロープを三、四人で引くが、ずるずると引きずられた。

「電柱に巻きつける」松村副園長の大声だ。

ガッーン。後へさがる摩耶子の力がロープを棒状にしてしまう。すごい力だ。三メートル進んでは園内の大木にロープを巻く、五メートル進んでは動物舎の鉄柵に止めた。まさにシャクトリ虫移

人気者の摩耶子連も大喜びだった。



動だ。移動開始一時間、ようやく新舎への扉にたどりついたが、ここでもまた摩耶子は大声を出し激しく抵抗した。しかし、エサと水を飲ませ一歩一歩足を引きずるようにようやくのこと部屋のパイプに繋ぎ止めた。さて、残った諏訪子である。汗だくの我々はもう疲れきっていたが休む間もなく、連れだした。耳を広げ頭を上げ、激しく興奮している。だが、突然歩きだした。ジャリン、ジャリン、ジャリン、我々を押しつけるように歩く。あれ、あれ、あれ、なんと自から摩耶子のいる新しいゾウ舎へ向って行ったのである。

「よかった、うまくいった」

ニコニコした山本吉之助園長の眼鏡の顔が今も忘れられない。